

MailStore Server

電子メールアーカイブのスタンダード

MailStore Server®は、2006年の販売開始から、数万の企業で採用されるメールアーカイブ市場のグローバルスタンダードに成長しました。簡単にインストールでき、信頼性が高く、管理負荷が少ない点が特徴です。

ware *Portal*

**MAIL
STORE®**

効率的なメール管理

メールは最も重要なコミュニケーション手段の1つであるだけでなく、ビジネスにおける最大かつ最も貴重な情報リソースの1つです。メールで送信される情報は、従業員ごとのメールボックスにだけ残ります。これは、数年にわたる知識の蓄積であり、日に日に大きくなっていきます。企業が成功するためには、情報の保護(バックアップ/リストア)、法的要件の充足、リソースやコストの削減、従業員が必要に応じていつでもアクセスできる環境の維持が不可欠です。

根本的課題

企業は通常、メール機能を備えたメールサーバーや、グループウェアソリューションを用意しています。しかし、これらのシステムは長期間にわたってデータを保存するようには設計されておらず、実害として、技術的課題(機能、リソース、パフォーマンス)、法的、経済的リスクにつながる可能性があります。

メールアーカイブの仕組みとは？

メールアーカイブは、既存のメールシステムへのシームレスな拡張として導入されます。管理者は、どのメールをアーカイブするか、いつアーカイブを行うか、メールがアーカイブされた後削除されるべきかどうか、そしてどのような条件の時にメールがアーカイブから削除されるべきかというようなメールポリシーを定義します。アーカイブを使用すると、大量のデータを効率的に管理し、企業内のすべてのユーザーが、メールに素早く簡単にアクセスできるようになります。



- ・100カ国以上で、何万もの組織から信頼されています。
- ・あらゆるメールシステムに対応しています。
- ・SQLサーバーを必要としない、拡張性の高いストレージ技術を搭載しています。
- ・システム要件は最小限です。
- ・セットアップが簡単で、数分で終わります。
- ・メンテナンスが簡単に行えます。

対応言語: 英語 日本語 フランス語 中国語 チェコ語 オランダ語
ドイツ語 ハンガリー語 イタリア語 韓国語 ポーランド語
ポルトガル語 ロシア語 スロベニア スペイン語 トルコ語



メールアーカイブのメリット

法的・経済的なメリット

法令順守と e ディスカバリ シナリオの補助

ビジネスは、増加するコンプライアンス要件を満たすという困難な課題に直面しています。これらの要件を満たす基盤:メールのアーカイブは、どのようなビジネスメールガバナンス戦略においてもその一部となりえます。メールのアーカイブは e ディスカバリ シナリオの補助ともなります。例えば、特別な監査人ユーザーにアーカイブへのアクセスを提供することにより、アーカイブされた全てのメールボックスを検索できます。更に、**MailStore Server** の最新の保管ポリシーを使う事で、**EU 一般データ保護規則 (GDPR)** をはじめとする法令要件を満たす手助けをします。

IT コストと経費の削減

サーバーの負荷やストレージコストの増加、加えてバックアップとリストア処理の複雑化など、IT 部門には大きな負担や予算が必要となります。**MailStore Server** はこれらのコストを削減します。また、データ紛失や法的な問題から発生する財政リスクを減らす助けにもなります。

データ損失に対する保護

ジャーナリングを通じた完全 なアーカイブ

大切なメールを間違っまたは意図的に、気づかれることなく削除してしまうことがあります。つまりあなたの会社には、大切なデータを無くす可能性が毎日存在しているということです。ジャーナルアーカイブ構成を設定している限り、全てのビジネスメールがアーカイブされていると確信できます。(すなわち全てのメールが受信または送信と同時にアーカイブされるのです。)

難しい PST ファイルの管理か らの解放

PST ファイルはデータ損失や破壊が発生しやすく、またストレージやバックアップに多大な影響を与え、例えばディスクバリ シナリオにおいて検索作業は悪夢となることもあり得ます。**MailStore Server** を使用すると、会社のすべての PST ファイルを一元的にアーカイブ、そしてバックアップすることができます。

メールシステムの負荷軽減

メールサーバーの負荷を軽減

アーカイブしたメールは、事前に設定されたルールに基づいてメールサーバーから削除し、メールサーバーの運用負荷を低減することができます。

最大 **70%**のストレージを節約

MailStore Server は重複除去と圧縮機能によりストレージ容量をメールサーバーと比較して最大 **70%**まで削減します。

バックアップと復元の簡素化

バックアップと復元時間を短縮

メールサーバーの負荷を軽減することで、バックアップとリストアの時間を軽減でき、障害発生時の対応も素早く行うことができます。

全ユーザーがワンクリックで復元

ユーザー自身がワンクリックでアーカイブされたメールを復元できるので、管理者はバックアップからリストアが完了するまでの間、立ち会う必要がなくなります。

生産性の向上

速い検索アクセス

MailStore Server ではメールまたはあらゆるタイプの添付ファイルを対象に素早い全文検索が可能です。元のフォルダ構造を維持したままでのアクセスも行えます。

ユーザーにとっての操作性

Microsoft Outlook の便利なアドインは、ユーザーがアーカイブにアクセスし、通常の作業環境にシームレスに統合できるようにします。

容量制限の排除

メールアーカイブを使用すれば、**Mailbox Quota** を使用しなくてもメールサーバーの保存容量を確保できます。

独立性

メールサーバーからの独立性 メールサーバーをバックアップする際に一番問題となるのがサーバー故障時のデータのリストア時間です。数時間、数日かかることが多いダウンタイムの間、企業とその従業員は業務上不可欠な情報にアクセスできなくなります。企業は、**MailStore Server** を使用することで、メールサーバー停止や、データが失われた等の際、アーカイブを介して、従業員全てがメールを見れるようになります。これにより、中断のないビジネス運営を続けることが簡単になります。

クラウドサービスからの独立性 多くの企業では、メールを会社の中で保存せずに、外部サーバー上に保存しています。これが意味するのは、プロバイダのバックアップルーチンだけに依存しなければならないならず、プロバイダは将来的にも必ず存在し、その責任を適切に全うするという事です。ローカルに電子メールをアーカイブすれば、便利な追加バックアップ手段が使えます。

MailStore からの独立性 全てのメールは、アーカイブからいつでも標準的な形式でリストアできます。このことは、**MailStore** 自体からも長期的には、独立を保証するという事です。

統合ストレージ技術

MailStore Server のコアテクノロジーには、第 3 者のデータベースソフトウェアを必要としない高度なストレージテクノロジーが含まれており、セットアップ直後に利用できます。これにより、**MailStore Server** は、数年にわたり急速に増加するメールデータを、効果的かつ簡単に管理できます。

効率的なデータストレージ

高い拡張性

ユーザーの観点から見ると、アーカイブは単体として存在していますが、内部的には任意の数の個別のアーカイブストアで構成できます。新しいメールをアーカイブする為に、現在使用されているアーカイブストアの容量が限界値になると、新しいアーカイブストアを自動的に作成して、そのファイルシステムで使用することができます。このコンセプトによって、柔軟な容量管理が可能になり、大量のデータに対するスケーラビリティが保障されます。

最大 70% のストレージスペースを節約

MailStore Server は重複排除機能を使用して、容量全体の要件を削減します。つまり、ユーザーのメールボックスには重複して表示されていても、同じ MIME パート(メール本文や添付ファイルなど)はアーカイブに 1 回だけ保存されています。さらに圧縮は、重複除去後の MIME 部分に適用されるため、全体のストレージ要求をメールサーバーでの使用に比べ最大 70% まで少なくすることができます。

その他の機能

柔軟なストレージ管理

高速ハードウェア機器(例: SSD)は一般的に、低速のハードウェア(例: HDD)よりも高価になります。**MailStore** を使用すると、ビジネスニーズに応じたコストバランスを考慮して使用することができます。頻繁にアクセスのあるアーカイブストアは高速ストレージに格納できますが、アクセス頻度の低いアーカイブストアは低速ストレージに移動することができます。

改ざん防止

MailStore Server は SHA ハッシュを利用し AES256 をメールのテキストおよび添付ファイルに適用する、最先端技術のハッシュおよびエンコーディングを使用します。これによりアーカイブされたデータを改ざんから保護します。

SQL Server での運用も可能

要求された場合、既に独自の基盤を持っている企業も、データストレージとして、**Microsoft SQL Server** または、**Postgre SQL** を使用できます。

柔軟なアーカイブ

対応システムとアーカイブ方式

ジャーナリングを通じた完全なアーカイブ

ジャーナルアーカイブのセットアップガイドラインを守っている限り、全てのビジネスメールがアーカイブされていると確信できます。(すなわち全てのメールが受信または送信と同時にアーカイブされるのです。)ユーザーがメールボックスからメールを消去してしまったとしても、先にアーカイブされているため影響はありません。

取り込んだ過去メールのアーカイブ

MailStore Server は、メールクライアント、既存のメールボックス、メールファイル(PST)からのアーカイブにも対応しており、既にパソコンに取り込んでしまった過去のメールもアーカイブできます。

対応しているメールシステム

- Microsoft が現在サポートしている Microsoft Exchange Server のバージョン
- Microsoft 365¹
- MDAemon Messaging Server
- Google Workspace
- IMAP/POP3 対応メールサーバー
- IceWarp や Kerio Connect
- PST, EML や 他のメールファイル
- Microsoft Outlook や Mozilla Thunderbird 等のメーラー

一般情報

メールサーバーの 負荷軽減

メールはアーカイブされた後、ルールの仕分け毎にメールボックスから削除できます。このことで、現在のメールサーバーへの負荷を低いレベルに一貫して維持することができます。例えば、メールをアーカイブしてから、18ヶ月以上経過したらそのメールをメールボックスから消去することもできます。

フォルダの構造

MailStore Server は、ユーザーメールボックスのフォルダ構造をそのままアーカイブできます。これにより、アーカイブの利便性が向上し、企業にとってソリューションの幅が広がります。

スタンダードコン プライアンス

メールは RFC 2045 とその後継で定義されたメールスタンダードである MIME 互換でアーカイブされています。これによりコンプライアンス要件を満たすことを手助けし、データの MailStore 外での使用を可能にします。

¹ Microsoft 365 に関する全ての説明は、Office 365 Enterprise プランや Office 365 という名称を持つ他のプランに対しても順次適用されます。

ユーザー別の管理 メールはユーザー別に自動振り分けされ、ユーザー自身も自分のアーカイブを管理できます。ユーザーは次のような方法で作成できます。

- 手動での追加
- ActiveDirectory 連携
- LDAP 連携
- MDaemon 連携
- Google Workspace 連携
- Microsoft 365 と連携
- Kerio Connect、Ice Warp と連携
- 外部データベースとの連携

速い検索アクセス

ユーザーは、様々な方法でアーカイブにアクセスする事ができ、非常に高速な全文検索を使用して、メールを素早く閲覧することができます。**MailStore Server** は、サーバーのパフォーマンスを減じるスタブオブジェクトやその他のテクノロジーにユーザーがアクセスする必要性を排除し、アクセスパスに関係なくアーカイブの直接的ライブビューを提供します。

対応しているアクセス方法

Outlook との統合

Microsoft Outlook の使いやすいアドインは、ユーザーがアーカイブにアクセスして、通常の作業環境に継ぎ目なく統合できるようにします。このアドインは、全文検索、ユーザーの使い慣れたフォルダ構造によるアクセス、ワンクリックリストアなど、すべての重要な機能を提供します。アドインは、グループポリシーを介して配布できます。

レスポンスウェブアクセス

MailStore Web Access を使うと、システムやデバイスに依存せず、スマートフォンやタブレットからも、**Web** ブラウザを使用してメールアーカイブにアクセスできます。

MailStoreIMAPServer

MailStore Server には、**IMAP** サーバー機能が搭載されており、クライアントのメーラーが **IMAP** に対応していれば、アーカイブデータに対し、メーラー内で読み取り権限を付与された状態で接続する事ができるようになります。**MacOS** や **Linux**、モバイル端末、メールクライアント (**Mozilla Thunderbird** など) から各自のアーカイブを参照する事ができます。

MailStoreClient

アーカイブへのアクセス方法の中で、最も多くの機能を提供しているのが **MailStore Client** です。ユーザーは、自分自身のメールアーカイブを参照する事はもちろん、割り当てられた権限によって、アーカイブの設定や実行、アーカイブ済メールのエクスポートといった操作も行えるようになります。

生産性の特徴

非常に高速な全文検索

MailStore Server ではメールまたはあらゆるタイプの添付ファイルを対象に素早い全文検索が可能です。あるいは、元のフォルダ構造を経由してのアクセスも可能です。

ワンクリックリストア

ユーザーはアーカイブから自分のメールボックスにメールを復元できます。

アーカイブされたメールへの転送と返信

ユーザーはアーカイブされたメールに返信するか、**Microsoft Outlook**、または別のメールクライアントで直接開いて(リストアしない)、転送することもできます。

安全な HTML プレビュー

MailStore Server は **MailStore** 用に開発されたホワイトリストベースの **HTML** 無害化機能を使用しています。これによりアーカイブされたメールデータを安全にプレビュー表示できます。

チームワーク

特定の用途や割り当て権限により、他の従業員のアーカイブにアクセスすることも可能です。他の従業員のアーカイブへのアクセスを許可する前に、必ずコンプライアンス要件を考慮してください。

コンプライアンス機能

MailStore Server の包括的な技術コンセプトは、企業が増加するコンプライアンス要件を満たす手助けをし、e ディスカバリ シナリオをアシストすることもできます。

ジャーナリングを通じた完全なアーカイブ

MailStoreServer は全てのメールを企業内に完全にアーカイブすることを可能にします。例えば、メールが従業員のメールボックスに届く前にアーカイブすることも可能です。

本物のアーカイブ

アーカイブされたメールは、あらゆる点で元のメールと同じものであり、必要に応じて、情報を失うことなく、アーカイブからリストアすることができます。

改ざん防止ストレージ

MailStore Server はメールの内容から SHA ハッシュ値を作成し、内部 AES-256 暗号化を使用します。これによりアーカイブされたデータを改ざんから保護します。

エクスポートデータの暗号化

MailStore Server は、ビジネスを独自のファイルフォーマットだけに制限しません。アーカイブされたメールは全て、いつでも 1 ステップでエクスポートできます。エクスポートされたメールをアーカイブ外部でも改ざんから守るため、暗号化された署名を加えることができます。

保存ポリシー

管理者は洗練された保護ポリシーを定義でき、それによって様々な種類のメールがアーカイブされた期間を完全に管理できます。メールを自動的にアーカイブから削除できるかどうか、またいつできるかを定義し、法規要件によって義務付けられた別々の保持期間にそれぞれ適合できるようにします。これらのポリシーは、顧客が EU 一般データ保護規則 (GDPR) の義務要件を満たす手助けをします。

証拠保全機能

証拠保全機能が有効になっている場合は、他の全てのユーザー特権と保存ポリシーの構成に関係なく、アーカイブからメールを削除することはできません。

ロギング

MailStoreServer は、統合監査機能を使用して管理者が定義できる変更とイベントを一貫して記録します。

監査用アクセス

監査用アクセス機能で、監査の際、例外的にメールデータへアクセスできるよう権限を与える事ができます。

e ディスカバリ シナリオの補助

アーカイブ検索も e ディスカバリをアシストするために企業レベルで実行できます。これにより、企業内のメール全体を一度に検索することが可能になります。

Administration API

Administration API を利用することで、MailStore Server を企業インフラと統合できるようになります。スクリプトを使って、ワークフローの一元管理、タスクの自動化、遠隔制御などが行えます。

システム要件

対応 OS (32bit と 64bit バージョン)

- Microsoft が現在サポートしている Microsoft Windows バージョン。詳細については、MailStore サーバーのヘルプにあるシステム要件を参照してください。
- Web サーバー(Microsoft IIS など)を別途インストールする必要はありません。(MailStore Server は独自の TCP ポートで動作する HTTP サーバーを搭載しています。)
- MailStore Server は VMware などの仮想環境でもスムーズに実行できます。
- MailStore Server はターミナルサーバーでもスムーズに実行できます。
- Microsoft SQL Server は必須ではありませんが、要件に応じて使用できます。

ハードウェアのサイジング

ほとんどの場合 MailStore Server は箱から出したらすぐに使用できますが、企業では既存の IT インフラストラクチャのコンテキスト内での環境構築について、最適なソリューションを考慮する事をお勧めします。詳細については、当社のテクニカルサポートチームまで、お気軽にご相談下さい。

数万の顧客が信頼する MAILSTORE SERVER

MailStore Server はメールアーカイブにおいて世界有数のソリューションの 1 つです。その顧客には何千もの中小企業や、あらゆるセクターに属する組織、政府機関、行政機関およびその他の公的機関が含まれます。



MAILSTORE は顧客満足度調査でトップマークを達成しています！

お客様は、Update&Support サービスの一環として、テクニカルサポートを受ける権利があります。お問合せが解決すると、当社サービスに対するお客様満足度の評価を行うアンケートページをご案内しています。全体的な顧客満足度は、毎年 90%以上を達成しています。

| | |
|---|--|
| <p>開発元 MailStore Software GmbH Cloerather Str. 1-3 41748 Viersen Germany www.mailstore.com</p> <p>国内販売元 ウェアポータル株式会社 埼玉県川口市栄町3-2-20 川口駅前ビル5F www.wareportal.co.jp</p> | <p>ご購入は</p>   |
|---|--|

各社の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。内容は予告なく変更となる場合があります。